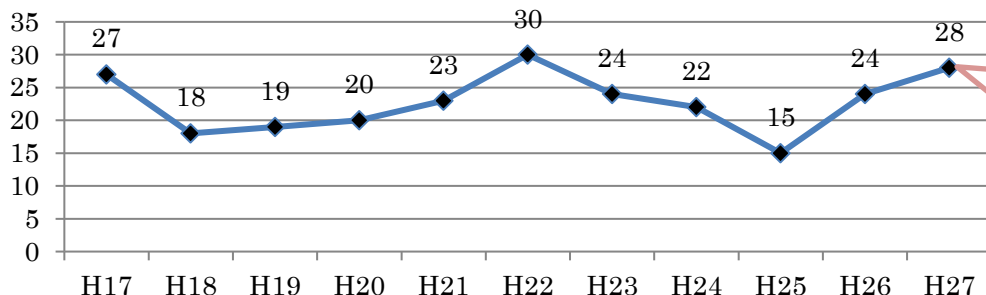


新聞販売業の皆様へ

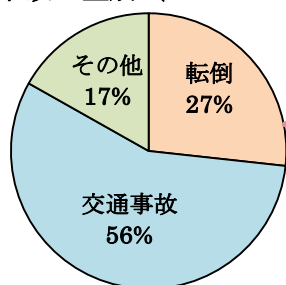
配達中の転倒災害・交通事故を防ぎましょう！

新聞販売業の休業4日以上死傷者数の推移



長崎県内では、例年 20 人程度の方が労働災害にあっています。

事故の型別 (H23~H27)



配達中における「交通事故」と「転倒事故」が多くを占めています。



●県内の災害事例

事故の型	年齢 経験期間	傷病の程度	概要
転倒	61歳 20年	足打撲 休業10日	バイクで配達中、バイクから降りようとしたところステップにひっかかり転倒した。
	74歳 8年	肘挫滅創 休業1週間	バイクで集金中、バイクを発進させたところ、砂利によりスリップし転倒した。
	54歳 1年	頸椎捻挫 休業1週間	バイクで配達中、横道の雑木林からタヌキが飛び出してきたため避けようとした際、転倒した。
	39歳 0	鎖骨骨折 休業1か月	梱包新聞(2個)を事務所まで運ぶためバイクの後部荷台に乗せ発進したところ、梱包新聞の重みで前輪が浮き転倒した。
	72歳 3年	肋骨骨折 休業2か月	バイクで配達中、突風にあおられバランスを崩し転倒した。
	43歳 2年	足打撲 休業1週間	バイクで配達中、下り坂でブレーキをかけたところ路面が凍結していたため転倒した。
	61歳 4年	足首骨折 休業2か月	住宅街を歩いて新聞配達中、積雪のため足を滑らせ転倒した。
	49歳 3か月	脳内出血 死亡	バイクで配達中、下り坂でバイクが転倒し、頭と胸を打ち死亡。
交通事故	69歳 10年	心破裂 死亡	車で新聞配達中、緩やかなカーブの下り坂でガードレールに接触、胸を強打し搬送先の病院で死亡。
	59歳 11か月	脳挫傷 死亡	バイクで配達中、国道を走行中、後続の普通車に追突され道路上に投げ出され頭部を打ち死亡。

新聞販売業における労働災害防止対策

転倒災害を防ぐために！

① 雨天や冬季における転倒防止

雨や雪、凍結時は、バイクや自動車がスリップしたり、歩行中に滑って、転倒など労働災害に遭う確率が高くなります。

雨天や冬季においては、バイク等の運転はいつも以上に慎重に行い、特にマンホール蓋、グレーチング(鋼製溝蓋)、白線の上ではスリップする危険性が高いため注意しましょう。

また、配達する際は、滑りにくい靴底の履物を着用し、走らず、慌てず、配達するよう心がけましょう。



柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。

② 保護具は正しく装着

頭部を強く打つと死亡災害に繋がる危険性が高くなります。

万一転倒した場合でも重篤な災害につながらないように頭部を保護するヘルメットは正しく着用しましょう。

交通事故を防ぐために！

① スピードの出しすぎに注意しましょう。特に下り坂やカーブでは十分に減速しましょう。

② イノシシやタヌキが飛び出してきて事故に遭うことがあります。雑木林周辺など、動物の飛び出しに十分注意して走行しましょう。



③ 日の出前や薄暮の時間帯に限らず、日中でもライトを点灯するようにしましょう。

④ 朝刊配達時間帯など交通量が少ない場合でも、一時停止等の交通ルールは厳守しましょう。

⑤ 蛍光・反射ベストを着用し、運転者が認識しやすい目立つ服装を心がけましょう。

安全教育を行いましょう！

① シーズン前に、梅雨時期や冬季特有の労働災害防止対策について安全教育を行いましょう。

② ルール無視などの不安全行動を排除するため、繰り返しの安全教育を行いましょう。



危険情報マップを作成・掲示しましよう！

事故に遭わなくても「ヒヤッ」とした、「ハッ」としたということはありませんか？

事故や労働災害に遭わないようにするためには、このような「ヒヤリハット体験」をもとに、危険な場所、注意事項を記載した危険情報マップを作成することが効果的です。

新聞配達ヒヤリマップの用紙を全員に配布

配達経路を記入する。
経路は太線、脇道は細線、信号なども記入

「ヒヤリ」とした箇所に×印をつけ、内容を簡単に書く

対策と確認事項を書く

新聞配達ヒヤリマップ

経路 自宅→新聞店→配達先

配達者氏名 _____

所要時間 _____

分

km

作成年月日 _____

例 ヒヤリマップは、既存の地図を使用して、配達中にヒヤリとした場所や実際に事故を見かけた場所などに、「危険（赤）」、「要注意（黄）」などの印を付けるなど、できるだけ簡単に活用できるよう工夫しましょう。

記号を入れてわかりやすく！

配達経路



バス停



道路地図（白地図）の上におくときは破線



川



十字路、三叉路



学校



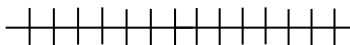
信号



郵便局



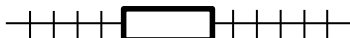
踏切り



ガソリンスタンド



駅・鉄道



駐車場



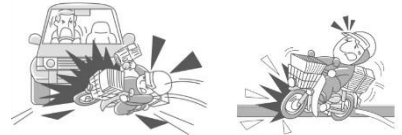
新聞配達ヒヤリマップ

を作成しましょう！！

交通事故の発生原因にはいろいろなケースがありますが、新聞配達中の「ちょっとした不注意」、「運転技術に対する過信」、「だろう運転」などにより、死亡災害が多く発生しています。辛うじて一命が助かるという場合もありますが、せき損等重篤な後遺症で苦しむこともあります。事故にならなくとも「ヒヤリ」とか「ハット」を経験したことは誰しも持っていることと思います。

そこで、このような交通事故を起こさないために、各販売店での労働災害防止対策（交通労働災害防止対策）の一環として、全員で新聞配達時における危険箇所の洗い出しを行い、その対策や注意すべき事項などを確認することが効果的です。

安全で健康な新聞配達ができるよう「新聞配達ヒヤリマップ」作りに積極的に取り組んでください。



以下にヒヤリマップの作成手順と作成例を示します

項目	内容
① 新聞配達区域マップを配布	・ マップを新聞配達員全員に配布する
② 配達経路を記入	・ 各人の配達経路は太い線 ・ 脇道は細い線 ・ 信号などの必要な地図記号を記入
③ ヒヤリ箇所を記入	・ ヒヤリ箇所に×をつけ、番号で順番を記入
④ 対策と確認事項を記入	・ 作成したマップを新聞配達員全員に配布する

(注)季節、朝刊及び夕刊等で危険要素、危険場所も違うので、定期的に見直すことが必要です。

新聞配達ヒヤリマップ（例）

